

刊行にあたって

京都府立大学文学部歴史学科では、京都府下を中心にさまざまな地域をフィールドとして、歴史と文化遺産に対する調査研究を実施してきた。京都府域における調査研究の核となるのが本学の地域貢献型特別研究（ACTR）で、2022年度は、綾部市・宮津市・京丹後市での調査を、そして京都府北部におけるMALUI連携による地域づくりについての検討を進めた。また、京田辺市史および和束町史の編纂に係る調査事業についても引き続き取り組んでいる。これ以外にも教員・大学院生・学生によって京都府内外で調査が進められている。こうしたフィールド調査成果の概要を、歴史学科では『フィールド調査集報』として刊行しており、本書はその第9号にあたる。

歴史学科では、文献史学・考古学・地理学・文化情報学・建築史学といった分野から、フィールドに残る文書・建造物・石造物・遺跡・景観といった多様な文化遺産に焦点を当てた調査をおこなっている。さらに、博物館等での展示協力や、地域住民に対する報告会など、研究成果の活用・社会的還元についても、重視した活動を展開している。ともすれば、こうした調査は内部の報告書で終わることが多く、また個別の教員の元でのみ成果が保管されがちであるが、歴史学科では年間の活動成果をまとめることで、調査活動およびその活用事例の公開・提示をおこない、研究・教育の成果の還元に努めている。

本書を通じて、歴史学科の活動と地域貢献の一端をご理解いただくことができれば幸いです。

編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱い、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
